

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年12月15日 (2016.12.15)

【公開番号】特開2015-85043(P2015-85043A)

【公開日】平成27年5月7日 (2015.5.7)

【年通号数】公開・登録公報2015-030

【出願番号】特願2013-227561(P2013-227561)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月28日 (2016.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光源と、前記光源からの光を測定光として被検眼眼底に導くための測定光路と、前記光源からの光を参照光として導光するための参照光路と、被検眼眼底に照射された前記測定光と前記参照光との干渉を検出するための検出器と、を備える干渉光学系と、

前記測定光路に配置され、前記測定光を被検眼眼底上で走査するための走査手段と、

前記測定光路に配置され、対物レンズ系を少なくとも備え、被検眼の瞳位置に前記測定光の旋回点を形成すると共に、前記旋回点を中心に旋回される前記測定光を前記眼底に導く測定光学系と、

前記走査手段による前記眼底上の走査位置を設定する走査位置設定手段と、

前記測定光束の光路中に配置されたフォーカス用光学部材を移動させる駆動部と、を備え、前記走査位置設定手段によって設定された走査位置に対応する被検眼眼底の断層画像を得る眼底撮影装置であって、

前記測定光学系において発生する像面湾曲によるフォーカス位置の変化を考慮した前記フォーカス用光学部材の補正情報を、前記走査位置設定手段によって設定された走査位置に応じて取得する補正情報取得手段と、

前記補正情報取得手段によって取得された補正情報に基づいて前記駆動部の動作を制御し、前記フォーカス用光学部材の位置を調整する駆動制御手段と、

を備えることを特徴とする眼底撮影装置。

【請求項 2】

前記駆動制御手段は、

前記駆動部の動作を制御し、少なくとも一つの走査位置に関して前記被検眼の視度を補正する視度補正制御を行い、

前記視度補正後、前記補正情報取得手段によって取得された補正情報に基づいて、前記視度補正制御後の前記フォーカス用光学部材の位置である合焦位置に対して前記フォーカス用光学部材の位置を調整することを特徴とする請求項 1 の眼底撮影装置。

【請求項 3】

前記補正情報取得手段は、

前記測定光学系において発生する像面湾曲及び被検眼眼底の湾曲によるフォーカス位置の変化を考慮した前記フォーカス用光学部材の補正情報を、前記走査位置設定手段によっ

て設定された走査位置に応じて取得することを特徴とする請求項 1 ~ 2 のいずれかの眼底撮影装置。

【請求項 4】

前記走査手段によって、前記測定光束を、前記被検眼の眼底上の走査画角位置が異なる少なくとも 2 ヶ所の位置に連続的に走査させる場合、前記駆動制御手段は、前記走査画角位置に応じて前記フォーカス用光学部材の位置を調整することを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかの眼底撮影装置。

【請求項 5】

光源と、前記光源からの光を測定光として被検眼眼底に導くための測定光路と、前記光源からの光を参照光として導光するための参照光路と、被検眼眼底に照射された前記測定光と前記参照光との干渉を検出するための検出器と、を備える干渉光学系と、

前記測定光路に配置され、前記測定光を被検眼眼底上で走査するための走査手段と、

前記測定光路に配置され、対物レンズ系を少なくとも備え、被検眼の瞳位置に前記測定光の旋回点を形成すると共に、前記旋回点を中心に旋回される前記測定光を前記眼底に導く測定光学系と、

前記走査手段による前記眼底上の走査位置を設定する走査位置設定手段と、

前記測定光束の光路中に配置されたフォーカス用光学部材を移動させる駆動部と、を備え、前記走査位置設定手段によって設定された走査位置に対応する被検眼眼底の断層画像を得る眼底撮影装置であって、

被検眼眼底の湾曲によるフォーカス位置の変化を考慮した前記フォーカス用光学部材の補正情報を、前記走査位置設定手段によって設定された走査位置に応じて取得する補正情報取得手段と、

前記補正情報取得手段によって取得された補正情報に基づいて前記駆動部の動作を制御し、前記フォーカス用光学部材の位置を調整する駆動制御手段を備えることを特徴とする眼底撮影装置。